

火打山山行記録



富士見平で

最後の急登

焼山・金山と北アルプス

| | | | |
|-----|--------------------------|----|------------------|
| 目的地 | 火打山 | 期日 | 平成21年4月29日(祝)・快晴 |
| 山人 | 笠原正雄、高橋誠一・かよ、伴場ちづ子、清水、増田 | 特記 | 連休山行、3年目の火打山 |

| 地点名 | 時刻 | 記 事 |
|----------|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 与板発 | 午前4:00 | 高橋夫妻と4:30中之島IC付近Pで合流。一台で妙高高原へ。朝6時にR18杉野沢入口交差点近くのコンビニで埼玉からの3人と待ち合わせる。快晴。 |
| 笹ヶ峰P発 | 7:00 | 駐車場は前面除雪されていた。かよさんからコーヒーをご馳走になる。全員でストレッチをしてから歩き出す。少雪の年ではあるが、入山口からは雪の歩きだ。 |
| 林間歩き | 7:30 | 暑くなり一枚脱ぐ。いつものことだが、右左と逡巡しながら先へと進む。 |
| 黒沢橋 | 7:50~8:00 | 橋は全て雪が無い。脇に僅か雪が渡っていたが、上れるほどの厚さは無い。橋を渡った所で休む。数名の山スキーヤーがやって来る。 |
| 軽アイゼン | 8:10 | 林の斜面緩登となるが、少し雪が固い。Mからアイゼンを付けようと声が掛かる。各々4~6本爪の物を付ける。俺は4本のKAJITAXを付ける。 |
| 十二曲がり上 | 8:40~8:55 | ここへの急登は、前日のものと思われる壺足トレースを拾いながら登る。アイゼンは無くとも登れるかとも思える程度の雪の固さだった。スキーヤーも踏ん張り所で、2人を追い越す。下山時に気が付くのだが、尾根取り付きは十二曲がりの標柱の10数m上であった。一部夏道が露出していた。少し広がった雪上で皆が揃うのを待つ。揃ったところで、オオシラビソの樹林登りに入る。 |
| 富士見平 | 9:35~9:40 | 固い雪の上に少し新雪が乗っていて、気分の良い雪原歩きである。数名のスキーヤーと前後しながら、広い台地に上がる。黒沢岳にトレースは見えない。3人の男女が腰を降ろしていた。山頂と焼山を背景に全員写真を撮って貰う。この後の黒沢岳トラバースは雪がやや固く足元要注意であった。赤布と先行者トレースより傾斜が幾分緩い沢寄りにルートを取る。 |
| 高谷池ヒュッテ | 10:00~10:20 | テーブルは板が僅か出ていたが雪に埋もれていた。小屋番が水ホースを掘り起こしていた。池は3m下らしい。ザックを置いて空荷で山頂を目指す。ピッケル又はストックでスタート。先に歩き出した3人は池に降りて直線的に山頂へ向かう。俺はBとMとで右方向の夏道尾根を目指した。風の当たり具合で寒さを感じる。 |
| 急登手前小ピーク | 11:15~11:25 | 少し手前の登りで先行3人と合流する。ここに来て一休みし、全員揃って最後の急登にかかる。一人年配男が下山して来た。 |
| 火打山頂 | 11:50~12:00 | 5人はこのシーズンの火打山は初である。先の上って貰い、最後尾で登頂する。山頂標柱は氷が張り付いていた。海は霞んで見えないが、山々は良く見渡せ、遠く北アルプスも見えた。新雪のため焼山に向かうトレースは確認できない。他に2~3人の登頂者が居り、その後も数人が登って来る。風も強くとても寒い。短時間で下山とする。一度シリセードを試みるも雪質のせいか、旨く滑らない。時々振り返って、山頂に流れ行くガスを見る。 |
| 高谷池ヒュッテ | 12:45~ | 今度は直線でヒュッテに降りる。一足先に着いて、スコップを借りてベンチテーブルを掘り起こし、快適ランチタイムを過ごす。山頂の寒さと打って変って日差しを受け暖かい。 |
| 下山へ | 午後2:00 | 軽アイゼンをはずして下山へ。ますますの快晴の碧空。 |
| 富士見平 | 2:35 | 少し休んで出発。Kがポリ袋を尻の下に敷いてシリセードをしている。 |
| 十二曲がりへ | 3:00 | オオシラビソ林の終端、急降下に入る。今度は標柱まで来て右折、疎林の急降下へ。下に来て左旋回して斜面歩きとなる。 |
| 黒沢橋 | 3:30 | 渡って少し休む。この後Mを先頭に歩くが、往きをどう歩いたかが分からない。 |
| 歩行終了 | 4:10 | 車に戻り、苗名の湯で入浴。 |

この季3年目であるが、2回ともアイゼンは持参していない。しかし、前々日前に寒気が入った。当初アイゼン不要と連絡しておいたが、急遽持参をお願いした。また、前日弥彦山登山道整備の現場に高橋さんが早坂尾根の際の忘れ物を届けがてらに激励に訪ねて下さった。そこで一緒にと誘い、6人での楽しい山行となった。例年になく少雪で山頂周囲の積雪も薄かった。しかし、全く曇ひとつ無い快晴と、寒気による新雪とで素晴らしい景色に出会うことが出来た。